

2026 年度
人生 100 年時代の
社会人基礎力育成グランプリ

応募要項
(2026 年 6 月 7 日現在)

主 催 一般社団法人 社会人基礎力協議会



一般社団法人 社会人基礎力協議会

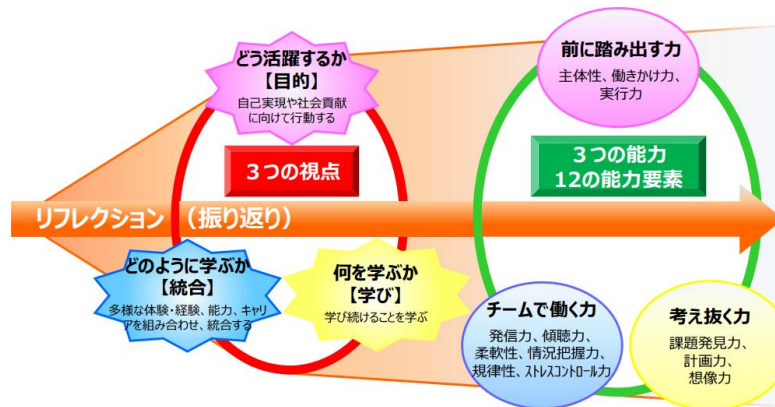
目 次

1. はじめに	P 3
2. 大会の趣旨	P 3
3. 大会の構成	P 3
4. 参加申込について	P 4～P 5
(1) 参加資格（応募要件）	
(2) 申込方法	
(3) 参加決定	
5. 大会の概要	P 6～P 10
(1) 各地区大会の対象地域一覧	
(2) 各地区大会および全国大会の開催日程	
(3) 社会人基礎力の発揮と成長（審査内容・発表内容の説明に先立って）	
(4) 審査内容について	
(5) 発表内容、時間について	
(6) 表彰	
6. お問い合わせ先	P 10

1. はじめに

「人生 100 年時代」や「第四次産業革命」の下で、2006 年に発表した「社会人基礎力」はさらに重要性を増し、「人生 100 年時代」ならではの切り口・視点が必要となりました。

こうした状況を踏まえ、2017 年度に開催した「我が国産業における人材力強化に向けた研究会」において、これまで以上に長くなるライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力を「人生 100 年時代の社会人基礎力」と新たに定義しました。



【参考】

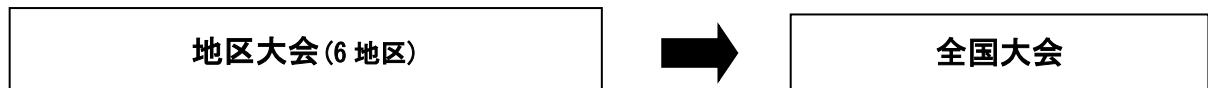
経済産業省「社会人基礎力」ホームページ <http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/index.html>

2. 大会の趣旨

経済産業省がとりまとめ定義した「人生 100 年時代の社会人基礎力」に賛同し、大学での学びにおいて、社会人基礎力の教育の普及と、その効果的な教育方法の研究の推進を目的に、「人生 100 年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長をとげた学生らの多様な実例を集わせ、これらを審査、表彰し、その実例の周知を図ります。

3. 大会の構成

「人生 100 年時代の社会人基礎力育成グランプリ」は、地区大会及び全国大会の 2 つの大会で構成されます。応募（エントリー）された各チームには書類審査の後、地区大会（6 地区）に出場します。この地区大会の最優秀チームが、全国大会に出場します。



全国大会は対面開催とします（会場：東京都文京区内を予定）。

地区大会は今年度はオンライン開催 5 地区と対面開催 1 地区の計 6 地区で実施します。

当協議会ホームページの最新情報をチェックしてください。

4. 参加申込について

(1) 参加資格（応募要件）

① 所属

発表者として参加できるのは、大学、短期大学、大学院、高等専門学校※（以下、大学等と呼ぶ）に所属する学生で構成されるチームとします。1つのチームは以下のメンバーで構成してください。

※高等専門学校の場合は4年生以上とする。

- | | |
|-------|----------------------------|
| ■担当教員 | 1名（授業・ゼミ・研究室の担当教員：非常勤講師も可） |
| ■学生 | 3名以内 |

② 申込制限

同一校からの応募は最大2チームまでとします。同一校内で3チーム以上の参加希望がある場合は、各校にて独自に学内予選などにより選考して頂き、2チームに絞り込んでください。また、学内予選などを行わず3チーム以上の応募があった場合は、当該校にて調整をお願い申し上げます。

③ 活動内容

学生の活動内容については、社会人基礎力の育成に繋がる講義、ゼミ、サブゼミなど、教職員指導のもと、大学等が教育の一環として実施している取り組みを対象とします。（部活動やサークル活動などの課外活動は除きます。ご不明な点がございましたら事務局や各地区実行委員にお問合せください）

④ 審査対象となる活動期間

審査対象となる活動期間は 前年度の2025年10月1日以降の活動部分に限らせていただきます。

⑤ その他

過去の出場校、受賞校もご応募いただけます。ただし、審査は、過去の活動・実績等は評価対象とせず、審査対象となる活動期間の取り組みについて行います。

(2) 申込方法

出場エントリーはWEB申請となります。

エントリー受付期間は2026年11月1日(日)～2027年1月8日(金)17時までです(厳守)。

下記URLからご応募ください。

一般社団法人 社会人基礎力協議会 URL <https://biz100.org>

なお、エントリーした教員や学生の連絡先の使用範囲は、本大会に関する連絡および当協会の事業の案内に限定いたします。

(3) 参加決定

事務局にてエントリー内容の審査を行います。参加資格に適合しない場合、応募多数の場合には、ご参加いただけないことがあります。

地区大会参加が確定したチームにはメールにてご連絡差し上げます。※登録アドレスに誤りがないよう十分ご注意ください。

各地区大会から代表チームが 2027 年 3 月 16 日(火) に開催される全国大会に進出します。

応募に関するスケジュールについて

- ・ エントリー受付開始 : 2026 年 11 月 1 日(日)
- ・ エントリー(応募)締切り : 2027 年 1 月 8 日(金) 17 時まで(日時厳守)
- ・ 参加決定チームへの通知 : 2027 年 1 月 22 日(金) (予定)

5. 大会の概要

(1) 各地区大会の対象地域一覧(経済産業省の管轄区分に準ずる)

○北海道地区大会

北海道

○東北・関東地区大会

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県、静岡県

○中部地区大会

愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県

○近畿地区大会

福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

○中国・四国地区大会

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

○九州・沖縄地区大会

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(2) 各地区大会および全国大会の開催日程

【北海道地区】

- ・日程：2027年2月11日(木・祝日)・オンライン開催
- ・実行委員長：福沢 康弘（北海道情報大学）

【東北・関東地区】

- ・日程：2027年2月21日(日)・オンライン開催
- ・実行委員長：別府 信太郎（株式会社Trust Cooperation）

【中部地区】

- ・日程：2027年2月14日(日)・オンライン開催
- ・実行委員長：今永 典秀（コー・イノベーション大学）

【近畿地区】

- ・日程：2027年2月7日(日)・オンライン開催
- ・実行委員長：秀安 聖二（株式会社ワークアカデミー）

【中国・四国地区】

- ・日程：2027年2月20日(土)・対面開催 会場：松山大学(愛媛県)
- ・実行委員長：松本 直樹（松山大学）

【九州・沖縄地区】

- ・日程：2027年2月23日(火・祝日)・オンライン開催
- ・実行委員長：森部 昌広（一般社団法人全日本コンディショニングコーチ協会）

■ 2026 年度 社会人基礎力育成グランプリ 全国大会 ■

- ・ 日 時 : 2027 年 3 月 16 日 (火)
- ・ 対面開催 (会場 : 東京都文京区内を予定)
交通費補助 北海道地区、中国・四国地区、九州・沖縄地区 : 10 万円／チーム
中部地区、近畿地区、東北 6 県、新潟、長野、山梨、静岡 : 5 万円／チーム
- ・ グランプリ委員長 市川 純章 (公立諏訪東京理科大学)

(3) 社会人基礎力の発揮と成長（審査内容・発表内容の説明に先立って）

○具体的なエピソードによる「発揮」と「成長」の振り返り

社会人基礎力の重要性は広く認知され、大学等での社会人基礎力の育成が期待されています。本大会ではその育成を「成長」という観点で評価しています。審査では、発表者自身の「発揮した」「成長した」という主観的な結論だけでなく、審査員が納得できる具体的なエピソードによる説明を求めています。

○社会人基礎力の「発揮」を自覚し言葉にする

社会人基礎力は、単なる作業能力だけでは解決や達成が困難な状況でこそ必要とされる力であり、その発揮が克服や達成、さらに次の展開へと結びつくものと考えています。「これが社会人基礎力の発揮である」といえる明確な指標や定義は難しく、多様な発揮の姿があると思われます。どのように困難な取り組みだったのか、克服や達成につながった社会人基礎力の発揮について、当事者の自覚を言葉にすることで、そのイメージが明瞭になり共有されていくと考えています。

○発揮の経験と教育的支援

社会人基礎力の「発揮」による克服や達成の経験は「成長」へのステップであり、教育的な取り組みにおいて、それらの経験には教員の指導や外部協力者の支援が効果的なことは十分にあると考えています。本大会では、学生の成長を評価するとともに、それらを促した教育的な指導、教育環境の提供等の支援の在り方にも注目しています。

○発揮の経験を通した成長の過程

学生らにとって、それまでできなかったことが「発揮」を通して、できたという経験を得ます。この経験の背景に教員の指導、外部協力者による支援や様々な幸運が関わることもあるでしょう。「成長」とは、その次の段階、すなわち支援者や伴走者や幸運がなくても自らの力で同様に発揮できる状態に変化したことと捉えます。そうした成長への過程にはいくつかの段階があると思います。発揮を経験し何をすれば良いか気づいた段階、次の機会ですら克服・達成できると見込まれる段階、さらに、取り組みの中で気づき再挑戦の経験が繰り返され、自ら克服・達成できるようになった段階などです。

○社会人基礎力の「成長」を再現性から考える

以上から、成長の評価においては、発揮の自覚、自らの行動や判断の捉えなおし、自らの変化、そして将来あるいは次の機会への姿勢が重要であると考えます。克服・達成という結果だけでなく、その経験が糧となり、次の機会にも発揮できる再現性のある力となっていることが期待されます。

(4) 審査内容について

社会人基礎力育成グランプリは、学生が行った活動内容とそれを行ったことによる「社会人基礎力」の成長を評価するものです。各チームの発表に対して、各審査員が以下の観点から社会人基礎力の発揮と成長について評価し、総合的に採点します。活動内容やテーマは直接の評価項目ではありませんが、審査の観点に必要な情報になります。

- ① 社会人基礎力の発揮：社会人基礎力を発揮し、困難な状況の克服や目標達成につながった取り組みであったか
- ② 判断と行動：困難な状況や予想外の事態に対して、どのように考え、判断し、行動したか
- ③ 気づきと変化：その経験を通して、どのような気づきや自己認識の変化があったか
- ④ 今後への態度：この経験や学びを踏まえ、今後どのような姿勢で行動していこうと考えているか

(5) 発表内容、時間について

以下は、教員パート、学生パートに期待する発表の中身です。具体的な構成は、各チームの自由です。また教員パート4分、学生パート13分の時間配分は目安です。全体で17分です。

① 教員パート 4分

1. 大学等での取り組みの位置づけ
2. 取り組みに関しての教員の準備、指導内容と教育仮説、外部協力者の関与
3. 取り組みに関しての学生の活動量（時間・期間）
4. 学生らの成長について変化と再現性の観点で感じていること、課題など。

② 学生パート 13分

1. 具体的な取り組み内容
2. 取組の中で起きた事態
思っていたことと違った場面、予想との違い、困難な状況、克服課題
3. 社会人基礎力の発揮について
どのような力の発揮により克服・達成したか
4. 自己の変化
経験を通して何が変わったか
5. 今後への生かし方
今回の取り組みとは異なる課題や場面でどのように行動するか

③ 審査員との質疑応答 7分

前述の審査内容を評価するために審査員からの質問で掘り下げていきます。

(6) 表 彰

地区大会及び全国大会では、審査委員の総合的な評価により、以下の各賞を授与します。

① 地区大会

●最優秀賞

当該地区において審査基準に基づき最も優秀な成績を収めたチームに対して授与

●優秀賞

当該地区において審査基準に基づき最優秀賞に次ぐ優秀な成績を収めたチームに対して授与

●審査員特別賞（該当がある場合）

当該地区において、特徴的な取り組みをしたチームに対して授与

※各賞の受賞チーム数は、応募数によって地区ごとに異なる場合があります。

② 全国大会

●社会人基礎力大賞

全国大会において、審査基準に基づき最も優秀な成績を収めたチームに対して授与

●準大賞

全国大会において、審査基準に基づき大賞に次ぐ優秀な成績を収めたチームに対して授与

●審査員特別賞（該当がある場合）

全国大会において、特徴的な取り組みをしたチームに対して授与

6. お問い合わせ先

「人生 100 年時代の社会人基礎力育成グランプリ」事務局

一般社団法人社会人基礎力協議会 事務局内

（株式会社 Trust Cooperation 内）

アドレス：gp_jimukyoku@biz100.org

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-62-8BIG OFFICE PLAZA 池袋 11F

TEL. 03-5918-8170 FAX. 03-5918-8190